



新入学児童保護者説明会

現在児童数は37名の本校ですが、4月には、7名の新生を迎える予定です。入学へ向けた保護者説明会を立春の2月3日（水）に行いました。

説明会では、入学までに準備するものや保育所と小学校の過ごし方の違いなどについてお伝えしました。多くの保護者が、兄弟をすでに小学校へ通わせていらっしゃると思いますが、新型コロナウイルスの関係で例年とは少し違った説明内容もあり、メモを取りながら参加されていました。

新生は全員が運動場のすぐ向こうに見える大島村保育所からの入学です。近くであっても、やや緊張してしまうまだ少し遠い存在の小学校に慣れるために、今週末からは、図書室の絵本を借りに来たり、低学年児童との交流をしたりして入学へ備えます。

暦の上では、もう春です。季節は春へ向かって少しずつ進んでいきます。満開の桜の下で元気に新生たちを迎える日を楽しみにしています。



一輪車チャレンジャー

12月後半から、新しく購入した一輪車を開放しています。まだブームに火はついていませんが、何とか独り立ちして乗れるようにと、熱心に練習する子もいます。

今現在、補助がなく思い通りに乗りこなせる子は全校で3名です。その子たちの後に続けと、4年生の数人ががんばって練習に取り組んでいます。右の写真は、すでに乗れる二人の子の補助をもらいながら、ほぼ自力で乗れるようになりつつあるチャレンジ中の子です。基本的な乗り方は身につけていて、あとは反射的に体がバランスをとり続けられるように慣れれば、長く乗れるところまで上達しています。ほぼ毎日の昼休みに、その練習に私も顔を出していますが、日に日に倒れずに乗れる距離が伸びていっています。『何時間という長さより、何日一輪車に触れたか』という回数が上達に関係するといわれています。何度こけてもくじけずに練習する根気強さに拍手です。この気持ちがあれば、100%乗れるようになります。次に続く根気強くがんばる子は誰でしょうね。

チャレンジする子は少しずつですが増えています。自転車と同じで、一度乗れるようになると、体が覚えてくれます。ある程度練習を重ねると、だんだんと上手になっていく自分の成長を感じることもできます。（それ以前にくじけてしまうこともあります）今は、『一輪車にチャレンジしてみよう』と誘っても、「いやあ、自分には無理です」と諦めモードで踏み出せずにいる子が少なくありません。そこから一歩踏み出して、乗れるはずがないと思っていた自分が、努力の末に乗れるようになったという『やり遂げた感』を感じることは、大きな自信と成長につながります。私も、うまくいくときは10mほど進むことができます。子どもたちに負けずに練習を重ね、60近くのおじさんでも乗れるようになるぞ！を証明しながら、チャレンジャーを増やしていきたいと思っています。

まだ外に出していない新しい一輪車があります。利用者数に合わせて出していく予定です。多くの子が自分を信じて、方法を考えながら根気強く練習に取り組み、一輪車が運動場のあちこちを走り回る大島小になっていくといいなと願っています。

